

ひまわり



議会だより

No.36

2019.1.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会

収穫前のきんかんたまたま（西深角西萬さん）

第4回定例会補正	□ □ □ □ □	P4
一般質問	□ □	P5～P7
表紙	□ □ □ □ □	P9
意見交換会	□ □ □ □ □	P10

議長あいさつ



長 徳 仁 議 斐 甲

新年明けましておめでとうございます。町議会を代表しましてご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的な猛暑で北海道での大地震や西日本の集中豪雨等の自然災害の猛威、本県も相継ぐ台風が襲来し、農産物に大きな被害が発生しました。本町では林地、農地に被害が出ましたが、人的被害がなかった事が幸いでありました。その様な中で、8月には「宮崎県消防操法大会」で西臼杵支部代表として、小型ポンプの部で第4分団第16部（深角）が県大会で見事優勝し、本町消防レベルの高さを見せてくれました。10月には8年ぶりの町議会議員選挙があり、町民の所得向上や福祉の充実、そして町政発展

の為に新たな議会体制のスタートとなりました。

更に、11月1日には、西臼杵では初となる高速道路（雲海橋―深角）2.8kmが開通した事は、西臼杵にとっても大きな一歩となり、先人の苦勞や貴重な土地、建物等を初め所有者のご理解、ご協力に紙面を借りてお礼を申し上げます。

さて、一つの時代が新たな元号を5月初旬に予定している本年、町にとっては最重要課題の庁舎建設、道の駅リニューアル等のハード事業を進めながら、高齢化に伴う福祉の充実、人口減少等による集落機能の維持低下の課題解決に向けて、議会と行政更には町民が一体となり、次世代に本町を繋いで行く事が最重要であり、その為の議会の役割と責務は重く、町民の負託に応える事が使命である事は言うまでもありません。

今後とも町民各位のご指導、ご協力を賜ります様よろしくお願い致します。結びに町政発展と皆様方のご健康をお祈りいたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。



■平成30年第1回臨時会

【期 日】平成30年10月22日

・議長に甲斐徳仁氏、副議長に甲斐睦彦氏
を選任

同意一件

・監査委員に小谷幸治氏の選任を同意

■ 日之影町議会の構成が変わりました ■

(平成30年10月22日構成)
(任期：平成30年10月22日～平成32年10月21日)

平成30年10月に日之影町議会議員選挙が実施され、議会構成が変わりました。

議 長	甲 斐 徳 仁
副議長	甲 斐 睦 彦

【常任委員会等】

◎は委員長、○は副委員長

総務文教常任委員会				
◎	一	水	輝	明
○	工	藤	英	信
	小	谷	幸	治
	甲	斐	徳	仁

経済建設常任委員会				
◎	河	野		學
○	小	川	輝	久
	高	館	英	嗣
	甲	斐	睦	彦

議会運営委員会				
◎	甲	斐	睦	彦
○	工	藤	英	信
	河	野		學
	一	水	輝	明
	小	谷	幸	治
	高	館	英	嗣
	小	川	輝	久
	甲	斐	徳	仁

議会報編集委員会				
◎	一	水	輝	明
○	高	館	英	嗣
	工	藤	英	信
	小	谷	幸	治
	小	川	輝	久
	甲	斐	徳	仁

政治倫理審査委員会				
◎	甲	斐	睦	彦
○	一	水	輝	明
	河	野		學
	小	谷	幸	治

日之影町議会森林・林業活性化促進議員連盟				
◎	河	野		學
○	小	川	輝	久
	高	館	英	嗣
	甲	斐	睦	彦
	甲	斐	徳	仁

庁舎建設特別委員会				
◎	一	水	輝	明
○	小	川	輝	久
	河	野		學
	工	藤	英	信
	小	谷	幸	治
	高	館	英	嗣
	甲	斐	睦	彦
	甲	斐	徳	仁

北部広域行政事務組合議会議員				
	一	水	輝	明
	河	野		學

西臼杵広域行政事務組合議会議員				
	甲	斐	徳	仁
	一	水	輝	明
	河	野		學

議員選出監査委員				
	小	谷	幸	治

12月定例会

一 「人事院勧告に伴い、特別職及び一般職の給与に関する法律等の一部を改正する法律案が可決され、国家公務員に準じて措置するもの」

■ 特別職の町長・副町長及び教育長給与条例の一部を改正する条例

(期末手当の支給月数を0・05月引き上げるもの)

■ 特別職の議員報酬費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

(期末手当の支給月数を0・05月引き上げるもの)

■ 町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(給料表の400円を基本とする引き上げ、期末勤勉手当の支給月数を0・05月引き上げ及び宿日直手当の額を引き上げるもの)

■ 日之影町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
(宮崎県災害弔慰金補助金交付要領と整合性を持たせるためのもの)

二 日之影町過疎地域自立促進計画の変更について

■ 「教育の振興」のうち、事業名に「集会施設」、事業内容として「町民交流施設」を新たに追加し、計画書の本文の変更及び同事業の事業費を追加するもの

三 町道路線(町立病院役場線)の認定について

■ 役場新庁舎へのアクセス道路として町立病院から役場建設予定地に接続する新規開発路線を町道として整備、管理するもの

四 公有財産の取得について

■ 道の駅青雲橋周辺施設整備事業用地として

12月定例議会

平成30年度第4回定例会は、12月4日に開会し、報告3件、議案12件（条例改正4件・過疎自立促進計画の変更1件・町道路線の認定1件・補正予算5件・公有財産の取得1件）は、原案の通り可決した。一般質問は5名が登壇し、町長・教育長に質問、12月13日に閉会した。

平成30年度
一般会計
補正予算

「新庁舎建設関連事業始まる」

歳出の主なもの

■ 民生費（施設型給付費扶助費、障がい者自立支援事業扶助費等）	3955万円 追加
■ 農林水産業費（林道費、持続可能な地域づくり応援事業補助金等）	1836万円 追加
・ 大人地区のジビエ加工施設整備補助金	
■ 土木費（道路新設改良等）	7601万円 追加
・ 町立病院役場線新設工事	
■ 商工費（観光施設整備工事等）	2156万円 追加
・ 道の駅青雲橋工事	
・ TR列車の宿シャワー設備工事	
■ 災害復旧費（農地災害復旧費、土木災害復旧費等）	1億1729万円 追加



《町立病院～役場線新設工事入口付近》



《農地災害現場》

補正総額 3億64万円追加 補正後の総額 53億2849万円

特別会計補正予算

病院事業（第1号） 補正総額 130万円 補正後の総額 6億5300万円
（診療報酬の過誤による補正が主なもの）

国保事業（第3号） 補正総額 4780万円 補正後の総額 7億1732万円
（保険給付費等交付金、保険給付費の補正が主なもの）

簡易水道事業（第3号） 補正総額 32万円 補正後の総額 7647万円
（人件費の補正が主なもの）

介護保険（第3号） 補正総額 352万円 補正後の総額 7億1761万円
（保険制度改正に伴うシステム改修委託料及び施設に於ける介護サービスの費用増が主なもの）

一般質問は、議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

子育てへの支援施策は

町長 安心して子育てのできる環境整備に努める



高館 英嗣
議員

問 農産物の新たなブランド構築を行い高品質なものを販売に繋げられないか伺う。

町長 本町独自の農産物認証制度を活かし、安心・安全ブランドの確立、高付加価値化、差別化を段階的に進めていきたいと考えています。また、6次産業化の促進をし、各課横断的な体制で取り組んでいきたいと考えています。

問 農業後継者へのソフト面での支援について伺う。

町長 経営計画の作成支援、経営分析についての研修会など、技術・経営面での支援を関係機関と連携し進めていきます。また就農者との意見交換を行い、アグリファームとも連携し、就農者の育成・確保への取り組みを検討していきます。

問 本町の溢れる自然を対外的に発信していくための道路整備状況や通信網の整備について伺う。

町長 県道日之影宇目線は、計画的に整備が進んでいます。また、鹿川地区方面は、延岡土木事務所への要望を行っているところです。情報環境整備に関しては、インバウンドへの対応や来町される皆様のご意見を参考に利便性の向上を図ってまいります。さらに、観光協会のホームページを利用し、新たな取り組みをしながら、情報発信の推進に努めてまいります。

問 子育て支援に伴う、保育士確保の支援や、教育の連携について伺う。

町長 年明けに病後児保育検討委員会の上上げを行うとともに、日之影町への就職をお願いし、保育士確保に努め、安心して子育てのできる環境を創出していきます。

教育長 保小連携協議会、町教職員研修会等で情報交換を行い、義務教育に反映し、実践すること、子ども達の育成に努めていきます。

庁舎移転後の中央地区活性化は

町長 地域住民との協議を最優先に進める



小川 輝久
議員

問 新庁舎建設が決定したが、建設に伴う大枠予算規模と財源の内訳について伺う。

町長 現在庁舎と文化施設の複合施設として、基本設計を進めている。今後基本設計が完了した時点で概算事業費を明示し出ると思う。財源については、特例起債、過疎債を活用し、公共施設等整備基金を併用し、後年度の過度な財政負担とならないように取り組む。

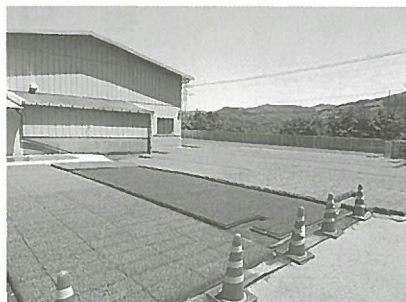
問 庁舎移転後の中央地区活性化策、商店街の振興についてその後の進捗状況を伺う。

町長 基本は地域住民との協議が最優先だが、先月に中央地区活性化協議会を発足させ、まちづくりアドバイザーに委嘱して現況調査などの作業を進めている。

商店街については、新規起業や商品券発行、各種イベント支援等継続していく。温泉駅、五ヶ瀬川、日之影川の自然資源を活用していくこともひとつの方策と考えている。

問 アグリファームの受託部門において、水稲育苗が本町全体の15%と聞く、施設の拡充、従業員の増員の考えはないか伺う。

町長 昨年度、県の中山間地域支援事業を活用して育苗施設を整備し、効率化と生産コスト低減を図ってきた。今後も新たな施設整備が必要だが、敷地、水源プラント併設も含めて解決していきたい。アグリファームが本町の雇用の受皿としての役割も果たして行けるよう運営していく。



《アグリファームの水稲育苗》

福祉車両を有効活用できる制度は

町長 福祉車両の貸し出しは社会福祉協議会と協議したい



工藤 英信
議員

問 社会福祉協議会の福祉車両について、土・日の空いた日に、無料貸し出しすることができる制度を発足させることはできないか伺う。

町長 現在、社会福祉協議会では移送サービス事業を行っている。土・日の車両無料貸し出しについては、町社会福祉協議会の理事会で協議していただき、貸し出しに関する要綱等を検討、整備するよう社会福祉協議会事務局と協議したい。

問 少子化に対応した活力ある学校づくりとして「小中一貫校」の考えは無いか伺う。

教育長 現段階での小中一貫校の設置は考えていない。小・中連携を推進していくが、今後児童生徒

の様子や、保護者・地域の思い等により、小中一貫校設置が必要であると思えば検討する。

問 小規模公民館の統廃合を含めた支援の在り方について伺う。

教育長 本町の公民館は自治公民館であり、行政としては統廃合を強制的に行うことは出来ない。自治公民館連絡協議会と連携し、要請があれば統廃合の検討を進め、時代のニーズや変化に即応した効果的な活動を支援する。



《社会福祉協議会の福祉車両》

ふるさと納税で医療負担ゼロ

町長 現在の事業で対応していきたい



甲斐 睦彦
議員

問 ふるさと納税を原資に中学までの医療費負担ゼロにする考えはないか伺う。

町長 出産祝金・子供医療費助成制度・子ども広場・第三子保育料無料などの事業を行っており、個人負担ゼロに対しては今後検討したい。

問 平成31年度より交付される森林環境譲与税の基本的なビジョンを伺う。

町長 森林経営管理制度に伴う森林所有者への意向調査、担い手の確保・育成、日之影町樹苗研究会、林業後継者育英資金などの財源等を検討している。

問 五ヶ瀬中等教育学校入学者選抜問題について、教育長の見解と本町における受験生に動揺はないか伺う。

教育長 教育の機会均等の観点から大変遺憾と考えている。本年度も受検希望者があり、今のところ該当する児童・保護者からの問い合わせはないが今後も、学校と連携を図りながら対応に努めていく。



《日之影保育園での木育》

「道の駅青雲橋」の運営方針は

町長 世界へつながる「架け橋」となる施設へ



小谷 幸治
議員

問 4月オープン後の運営方針について伺う。

町長 地元産にこだわりの「ここ」のすべてを知ることが出来る場所として、自然の眺めや食事を楽しみながら、町の匠や歴史、新たな日影を発見し、観光拠点施設として、施設整備のみならず、人材育成にも取り組む。

問 新たな取り組みについて伺う。

町長 観光協会を併設することで、情報発信業務、世界遺産やユネスコエコパーク、森林セラピーの受け入れ窓口として機能強化を図る。また、物産販売施設の強化策として、地元産野菜などの集荷システムを検討している。

問 観光協会が一般社団法人へ移行するメリットについて伺う。

町長 ①組織としての管理体制と責任の所在が明確になる。
②社会的認知度が高まる。
③法人と会員、会員相互の権利義務関係が明確になる。
④収益事業への取り組みが今まで以上に可能となる。

問 観光協会と文化財専門委員会と連携で町のロゴマーク入りの統一した観光地及び文化財案内の道標等の作成について伺う。

町長 連携については当然で、良いタイミングだと思う。道標については、それぞれの考えもあることからすみわけも必要である。



《道の駅完成予想図》

議員研修で今後の課題を共有

■ 西臼杵郡議員大会・研修会の開催 ■

【期日】平成30年11月5日（月曜日）

【場所】高千穂町役場

【内容】講演『高速道路の一層の整備促進に向けて』

（講師・県高速道対策局長 中尾 吉宏 様）

【活動報告】高千穂町議会 板倉 哲男 議員

「地域離れ、政治離れを食い止めるためにできること」

五ヶ瀬町議会 甲斐 政国 議員

「議会活性化の取り組みについて」

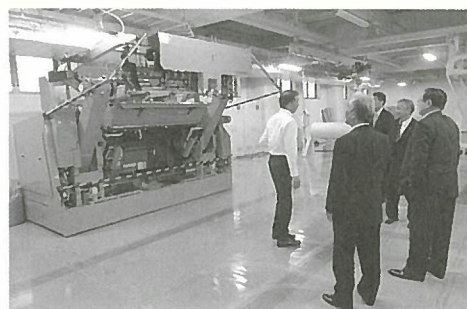
講演内容は、宮崎周辺で発生する地震災害対応における高速道路の位置づけと必要性、整備促進に向けての要望活動の効果について講演を受けた。その後、2名の議員による活動報告があり、充実した内容の研修会となった。

■ 議会広報研修会宮崎で開催 ■

【期日】平成30年11月27日～28日

【場所】宮崎自治会館（議会広報編集委員5名・事務局1名）

今回は、新人議員全員の参加の中、初日に、講師の芳野政明氏の「議会広報の基本と編集」について講演を受けた後に、町村ごとに研修指導を受けた。大変参考になり今後の編集に生かしたい。翌日、宮日新聞佐土原センターを見学する。最新鋭の自動・省人化されたシステムにより、印刷から新聞が家庭に届くまでを学ぶことができ、貴重な研修となった。



【宮日新聞佐土原センター】

常任委員会所管事務調査報告書

文化財専門員と初の

意見交換

■総務・文教常任委員会

【期 日】平成30年11月12日

【調査事項】町有形文化財の現地調査及び町文化財専門員との意見交換会

一、宮水道標(仲畑) 平成27年指定19号

明治35年11月に建立、町内では、最大で唯一残された元標であり保存状態も良好であった。

二、甲斐宗損墓石及び一族の墓・地藏堂(大人西)

昭和61年指定 7号建立年月日は不詳、宗損は鶴の平で自刃した。その亡骸は大人に持ち帰られ埋葬されたと言われている境内には、一族の墓と言われる石塔14基がある。

三、線刻六地藏(大人神社境内)

昭和61年指定 8号建立年月日は不詳、六面に一体筒の地藏が線刻されており、町内の六地藏では、一級品とされている。

視察後、文化財関連事業等の

活動状況と課題について意見交換会をおこなった。僅かな予算の中、強いボランティア精神で成り立っている活動には頭の下がる思いである。今後は、若い世代の人材育成、歴史的に価値のある建立物が消滅することが危惧されるので、制度や手法を変えた取組みと、広く町民の皆さまへの情報公開が課題である。



【大人神社境内にある線刻六地藏】

■経済建設常任委員会

【実施期日】平成30年11月19日

【調査事項】

一、特産センターごかせの物産販売状況

二、道の駅青雲橋の整備状況

三、ひのかげアグリファームの運営状況

一、特産センター五ヶ瀬の物産販売状況

支払いを毎週行い、希望者に1日2回売り上げのメールを配信し、販売手数料は20%に抑えるなどの取り組みにより、当初10名で発足した生産者数が、現在は町内外あわせ300人を超し、売り上げはこの3年間で倍増し軌道にも乗り順調である。本町においても、町全体にこの仕組みをとりいれる必要があるのではないかと考える。

二、道の駅青雲橋の整備状況

ほぼ工程どおりの7%の進捗状況である。既設の建物がある関係で工事の安全を願い、来年4月のオープンは待ち遠しいところであるが、道の駅への一般車両出入り口の安全対策が必要ではないかと考える。

三、ひのかげアグリファームの運営状況

現状では、水稻育苗は6000枚が限界で、町内15%の供給率との事であった。今後、受託業務の増加が見込まれるが、社内体制の見直しや、バランス等の調整が望まれる。また、農業機械の圃場出入口整備が急務と思われる、制度見直し等により補助事業も望まれる。農産物については、将来的に一般農家に横展開を図り、至つては道の駅との連携を目指し、本町の農業の核となることを望む。



【アグリファームによる草刈状況】

■ 表紙紹介 ■

今回は、西深角集落の西 萬さん（82歳）と奥さんのツル子さん（84歳）を紹介します。

ハウスの中は、オレンジ色の花が咲いたかのように綺麗なきんかんが実をつけていました。

Q 農業経営についてお伺いします。

西さん

現在は、ハウスきんかん13a、栗60a、水稻36aを二人で経営しています。きんかん栽培は平成15年から収穫を始め、今年で15年目になります。

Q 農業の楽しさ、良さと思うところは何ですか。

西さん

きんかんたまたまエクセレントが出来た時が、何よりも楽しみです。又、生産者や各指導者、市場関係者等、人様とのつながりのおかげで、元気が出ることです。

Q 農業をする中で、問題点はありますか。

西さん

日之影町は、農業に対する助成が充実しているのでありがたいです。問題点は栗の収穫時に人手不足になることです。

Q ひのかげアグリファームについてお伺いします。

西さん

将来を見据えた良い取組みと思います。委託仕事が集まる時の、日程の調整を早めにしてもらえると助かります。

Q 西さんの一番の楽しみは何ですか。

西さん

家内安全で仕事ができることと、将来、後を継いでくれる長男が、早く家に帰って来ることが一番の楽しみです。



【家族旅行のひとコマ】

（ご協力ありがとうございました。）

■ 議会傍聴のご案内

12月議会には一般の方と高栗野・宮水小学校の6年生合わせて34名方が傍聴し、小学生からは感想文を頂きました。ありがとうございました。次回の定例会は3月です。皆様の傍聴をお待ちしております。

また、議会に対するご意見等お聞かせ下さい。

◎問い合わせ 議会事務局 TEL 87-3908

民生児童委員協議会との意見交換会を実施

【日 時】 平成30年12月20日（木）15:50～17:00

【場 所】 日之影町福祉館

【出席者】 民生児童委員協議会 24名 事務局2名

今回は民生児童委員協議会定例会終了後の時間を頂き、意見交換会を行いました。年末の忙しい時期となりましたが、貴重な意見、提言を聞くことができました。主な内容は、高齢者福祉に関する意見が多く、水源の維持管理、移住定住対策等、過疎化・高齢化が進む本町の将来に向けた課題対策についての意見がありました。今後の議会活動に反映いたします。ありがとうございました。



日之影町の文化財



《線刻六地藏墳》



《甲斐宗攝一族の墓》



《甲斐宗攝墓石》



《長谷川道標》

今回は日之影町の文化財を紹介します。
(詳しくは8ページ)



《宮水道標》

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今回、初めて議会広報作成に携わらせていただきました。限られたスペースの中に議会活動や、町民の皆様にお伝えしたい事を集約することの大変さを実感しました。また、広報用の写真を撮るために各地を訪れ、地区の文化・伝統に触れることで日之影の魅力を再認識いたしました。皆様に、議会の事を知っていただきたいと思いついておりました。更に工夫を重ねて参りますので興味を持っていただけると幸いです。

高館英嗣

発行責任者

議長 甲斐徳仁

議会報編集委員

委員長 一水輝明

副委員長 高館英嗣

委員 工藤英信

委員 小谷幸治

委員 小川輝久